有明工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語

科目基礎情報

科目番号	0013	科目区分	一般 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	機械工学科	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	前期:1 後期:1
教科書/教材	BETTER GRAMMAR 英文法ビフォー&アフター		
担当教員	三戸 健司		

到達目標

到達目標
1.予習復習に加えて、自分の興味をもった内容を深めて英語学習を継続的に行う習慣が身 に付いている。
2.教材と同レベルかそれ以上の英文を読んで、内容を十分理解することができる。
3.教材の中で用いられている重要文法事項を関連事項も含めて身に付けており、英作文な どに応用できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	予習復習に加えて、自 分の興味をもった内容 を深めて英語学習を継続的に行う習慣を身に 付けることができる。	予習復習をすること で、着実な英語学習習 慣を身に付けること ができる。	十分に予習復習を行 わず、着実な英語学習 習慣を身に付けるこ とができない。
評価項目2	教材と同レベルかそれ 以上の英文を読んで、 内容を英語で説明する ことができる。	教材と同レベルかそれ 以上の英文を読んで、 内容を英語で説明する ことができる。	教材と同レベルの英 文を読んで、内容を日 本語でも説明するこ とができない。
評価項目3	教材の中で用いられて いる重要文法事項を関 連事項も含めて身に付 けており、英作文や英 会話に応用できる。	教材の中で用いられ ている重要文法事項 を身に付け、英作文に 応用できる。	教材の中で用いられ ている重要文法事項 を身に付けていない。

学科の到達目標項目との関係

学習教育到達目標 A-1 学習教育到達目標 A-3

教育方法等

概要	この授業は、英語の「読み」・「書き」・「話す」・「聞く」の4つの技 能の中の「読み」の能力の養成 に重点が置かれる。そのためには語彙力 強化が不可欠であることは大前提である。英語で書かれた文章を速 く正 確に理解することは、今日のグローバル化時代の国際社会人として要求さ れる能力となっている。英語 のこの分野の能力は英語の実際的な運用能 力を測る指標としての TOEIC の試験で試される技能の1つでもあ る。 この授業では、1 月に校内で実施される TOEIC の試験の Reading Section のスコアを伸ばすことができる ように、英文を速く正確に読むためのス キルを学生に習得させ、同時に語彙力の増強を図る。また、TOEIC 試 験 の Reading Section の出題形式に準じた練習問題を実際に解いていく過 程で、学生の全体的な英語運用能 力を高めることも目標としている。
授業の進め方・方法	講義と発表を中心に進めていく。
注意点	評価方法:各定期試験の成績 80%、レポート・ノート等の提出物や小テス トの成績 20%の比率で評価 評価基準:60 点

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	8品詞	8品詞について理解できる。
		2週	文とその構成要素	文とその構成要素について理解できる。
		3週	文型と文の種類	文型と文の種類について理解できる。
		4週	句と節	句と節について理解できる。
		5週	動詞と動詞の活用	動詞と動詞の活用について理解できる。
		6週	動詞と動詞の活用	動詞と動詞の活用について理解できる。
		7週	時制	時制について理解できる。
		8週	受動態	受動態について理解できる。
	2ndQ	9週	助動詞	助動詞について理解できる。
		10週	叙法	叙法について理解できる。
		11週	否定	否定について理解できる。
		12週	名詞	名詞について理解できる。
		13週	代名詞	代名詞について理解できる。
		14週	疑問詞	疑問詞について理解できる。
		15週	期末試験	
		16週	テスト返却と解説	
後期	3rdQ	1週	関係詞	関係詞について理解できる。
		2週	形容詞	形容詞について理解できる。
		3週	限定詞	限定詞について理解できる。
		4週	副詞	副詞について理解できる。
		5週	比較	比較について理解できる。
		6週	不定詞	不定詞について理解できる。
		7週	分詞	分詞について理解できる。
		8週	動名詞	動名詞について理解できる。
	4thQ	9週	前置詞	前置詞について理解できる。
		10週	接続詞と節	接続詞と節について理解できる。
		11週	呼応	呼応について理解できる。
		12週	時制の一致と話法	時制の一致と話法について理解できる。

		13週	倒置、省略、強調	倒置、省略、強調について理解できる。
		14週	文の転換	文の転換について理解できる。
		15週	期末試験	
		16週	テスト返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0